

## 第5回「包装・物流技術士による技術士受験説明会」実施報告

-包装・物流技術士への道-

2017年2月11日

広報部会

国内・海外をめぐる「包装・物流」の潮流は大きな変革期を迎えております。21世紀に求められる「包装・物流」人材の活躍をより一層推進する手段として、「包装・物流」専門家(技術士)の育成が急務です。このような背景から、「包装・物流」5団体後援・共催の「技術士受験説明会」を2月7日、開催いたしました。

### 記

1. 要旨：「包装・物流」技術士試験を目指す方々を対象に受験の仕組みと技術士の活動事例、合格の秘訣、受験に当たってのQ&Aなどを分かり易く解説。
2. 内容：技術士制度、技術士試験の内容、合格者の推移、技術士に望まれる資質など。
3. 主催：公益社団法人 日本技術士会 登録グループ 技術士包装物流グループ
4. 後援：公益社団法人 日本包装技術協会
5. 共催：日本包装コンサルタント協会、日本包装専士会、日本包装管理士会、日本 MH 協会
6. コーディネーター：田中 好雄「包装管理士・包装専士・技術士（ロジステイクス）」
7. パネリスト：平成28/27年度技術士第二次試験(ロジステイクス「包装・物流」合格者)他
8. 日時：平成29年2月7日(火) 14:00～16:30(質疑応答を含め2時間30分を予定)
9. 会場：公益社団法人 日本包装技術協会 東劇ビル10階会議室

### 【受験説明会プログラム】司会進行 坂巻技術士

- |       |                           |          |
|-------|---------------------------|----------|
| 14:00 | 会長挨拶                      |          |
| 14:10 | 技術士試験の概要と動向。              | 田中会長     |
| 14:40 | 先輩技術士の経験談                 | 清水、平田、大橋 |
| 15:40 | 休憩                        |          |
| 15:50 | パネルディスカッション               |          |
|       | パネリスト：田中会長、堀内、清水、平田、大橋、野田 |          |
| 16:30 | 終了                        |          |

## 【パネルディスカッション】



パネルディスカッションの様子

野田技術士の司会で、参加者からの質問に対し、パネラー役の田中会長他4人の技術士が、回答するという形式で、質疑応答が行われました。

質疑応答の要約を以下に記します。

### [質疑応答要約]

#### Q. 1 職務経歴の記載についての質問

- ・会社業務として、長く技術の現場側を担当してきたが、近年はマネジメント側を担当するようになってきた。従来の職務と、最近の職務とでは、仕事の内容、質が異なっている。
- ・このような状況変化の中で職務経歴のストーリーをどう絞ったらよいでしょうか？

#### A. 1

- ・技術士の定義の中に、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者を言う、とあります。ご自身の業務経験の中で、高度な応用能力を要した「研究」、「設計」等について記載します。世のため、人のためになるかを問われるので、世の中で求められているニーズと自身のきらっと光る技術、シーズを棚卸して、マッチングさせる。そこに絞り込んで、ストーリーを組み立てます。
- ・体験論文がキーポイントとなります。ホットで先駆的なことに絞って記述しますが、先駆的といっても、決して最先端技術ではなくともよいのです。たとえば、経営改善のために、4Mの「Man」に着眼して、人の役割を新しい視点で、訴求することでもよいでしょう。

#### Q. 2 1次試験と2次試験の部門選択についての質問

- ・知人（技術士）から、「退職後の身の振り方を考えて、昨年、当セミナーに参加し、モチベーションがあがった、奮い立った」ということを聞き、私も当セミナーに参加しました。
- ・この知人は、1次試験は機械工学部門、2次試験は経営工学部門で受験しましたが、1次と2次と、どういう使い分けがよいのでしょうか？

A. 2

- ・1次試験は知識が大切であり、2次試験は、その知見の上に、さらに経験が必要です。
- ・たとえば、「包装」という専門分野は広い分野にまたがります。機械に関するもの、作業性に関するもの等々、幅広い分野に関連します。  
経営工学部門は、これらを横断的にみることができます。
- ・1次試験用の勉強が、今でも役立つ時がありますので、試験のためだけではなく、幅広い知見を養うことができるという点も考慮するとよいでしょう。

Q. 3 2次試験向け受験勉強時間についての質問

- ・仕事と家庭生活の中での勉強時間について教えてください。

A. 3

〈A技術士〉

- ・四六時中、図書館で勉強しました。集中する時間をとることが大切だと思います。  
受験勉強方法は、5年間の過去問に取り組みました。5年間分を通してみると、パターンが見えてくるので、今の自分の仕事から、光るものを見つけて論文を作るようにしました。

〈B技術士〉

- ・2次試験対策として、1次試験終了後から、8ヶ月、受験勉強に充てました。  
過去問は、2ヶ月前から取り組みました。休日、そして平日の仕事帰りは、喫茶店等で、勉強しました。帰宅してしまうと、寛いでしまがち、だからです。
- ・暗記は必要ありませんが、キーワード集を作り、整理し、頭の引き出しに入れておきました。

Q. 4 技術士補について

- ・技術士補として登録し、3年ほどしてから、2次試験を受けようと思います。  
技術士補の社会的地位は、どうなのでしょう？

A. 4

- ・実務経験が7年以上あるのならば、1次試験後、すぐに2次試験に取り組んだ方がよいでしょう。
- ・技術士補は、あくまでも修習技術者であるので、早期に、技術士となるべく、取り組みましょう。民間の資格と国家資格とでは、その重みが異なります。特に海外で仕事をする場合は非常に有効です。

以上



田中会長の受験説明風景



司会進行役の坂巻技術士



技術士受験体験談風景

(上 清水技術士 左下 平田技術士 右下 大橋技術士)